

～ 高齢者の公的就労実現に向けて 41 年 ～

事業団結成41周年のつどい

“働ける感謝の気持ち”を込めて、ささやかですがつどいを開催させていただきました。

団は、今年結成41周年を迎えました。当時の諸先輩方の苦勞と精神を引き継ぎ高齢者に働く場所を提供し続けてきた事業団の益々の発展を目指して、感謝のつどいを10月13日(日)午後に宇治市生涯学習センターにて開催させていただきました。

当日は、前日からの台風19号による影響が心配されましたが、好天に恵まれ200名近い市民や団員、家族の皆様にご参加いただき、楽しいひと時を過ごしていただくことができました。

感謝のつどいは、司会の木田朱美さんの開会宣言でスタート。最初に和太鼓サークル「渦」の皆さんがすごい迫力の開演ふれ太鼓で飾っていただきました。続いて一部式典でつどい実行委員長の梅原孝事業団代表理事が感謝のあいさつをさせていただきました。

そして沢山の来賓の方の中から、宇治市長(メッセージ代読)木下健太郎：都市整備部部長、宇治市議会より渡辺俊三：副議長、京都府議会議員の村井弘、藤山裕紀子議員、団体を代表して京都高齢者福祉事業団 齊藤真一理事長より心温まるご祝辞をいただきました。

つどいには、宇治市議会議員の皆様やお世話になっている沢山の団体、市民の皆様にご参加いただきましたが、時間の関係でご挨拶をいただく時間がとれませんでしたこと、この場をお借りしてお詫び申し上げます。



一部式典 壇上 左から司会の木田さん、続いて団の理事、監事、右側はご挨拶いただいた来賓の皆様です。



来賓の皆様 宇治市議会議員や沢山の団体、市民の皆様にもご参加いただきました。

第2ホール：交流と懇談の場「こんなあたたか いつどいは初めて」と喜んでいただきました

つどいの2部では、結成42周年を迎えて頑張っておられる「ひょうたん島」の皆さんによるコンサート、フラホーリーズの皆さんによるフラダンスを楽しんでいただき、最後に嘉村茂副実行委員長が閉会あいさつをさせていただきました。



第2ホール「交流と懇談の場」も楽しんでいただきました。

第2ホールに「交流と懇談の場」を設けさせていただきました。

受付開始と同時に開場し、事業団紹介コーナーや団員さんが作られた、絵画、写真、陶器など出品作品を募集し、作品展示コーナーを設置させていただきました。

また、飲み物、食べ物：パン（東福社会とパン屋あっちさんご協力）、福引コーナーも設け楽しんでいただきました。さらには、

青葉さんのご協力で「介護サービスコーナー」も設置させていただきました。



事業団紹介コーナー 一生懸命の事業団の仕事ぶりを知っていただきました。



福引コーナー 大好評！何色の玉が出るか？ スタッフも大喜び

参加者の皆様には、41周年記念誌、記念タオル、エコバック（志津川福祉の園さんご協力）そして宇治ならではのお土産として茶団子（駿河屋さんご協力）も用意させていただきました。

このような内容は、この集いを成功させるために、実行委員に事業団事務局だけでなく現場の団員さんにも委員になっていただき、

実行委員会を4回開催し、企

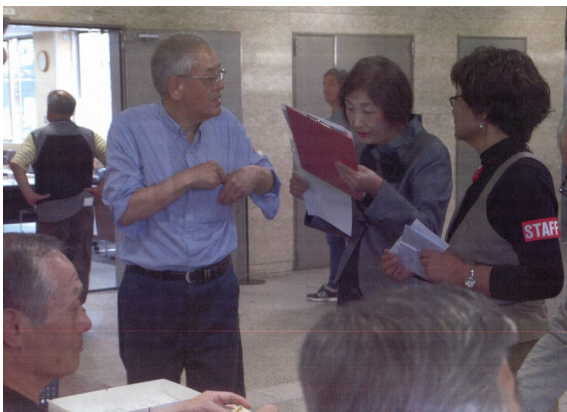
画検討してすすめさせていただきました。この実行委員が当日のつどいのスタッフとして、準備から片付迄すべてやり切っていただきました。ご苦労様でした。

参加していただいた皆様からも「こんな温かい催しは、初めて」などと大好評でした。

つどい成功の力で事業団の益々の発展を目指して頑張っています。一層のご支援ご協力をお願いいたします。



パンコーナー あっちっちゃんにもご協力いただきました。



打ち合わせ 右から岩嵯さん、司会の木田さん、大活躍の安岡理事です。

代表理事「あいさつ」

大変お忙しい中、沢山の皆様にご出席いただき感謝申し上げます。▼宇治高齢者事業団は、高齢者に公的就労の場を提供しようと行政はじめ多くの市民、団体の皆様のご支援協力をいただいて早や41周年を迎えることが出来ました。▼改めてこの場をお借りして御礼と感謝を申し上げます。▼振り返りますと、「50周年記念誌」には、「結成したものの事務所もなく毎日宇治橋の下に集合して、現場に向かうという毎日であった」ということで、諸先輩がたがこんな中でも仕事では多くの信頼を築いてきていただいたからこそ今日を迎えることが出来たという事を、改めて団員一同、感謝し、こうした初心を忘れることなく、引き続き高齢者に仕事を提供していきたいよう、頑張ってくださいませ。▼一層のご支援、ご協力を重ねてお願い申し上げます。梅原 孝

宇治高齢者事業団

結成41年、感謝のつどい

「市民の大きな力になる」

一般社団法人・宇治高齢者事業団（梅原孝代表理事）は13日、宇治市生涯学習センターで結成41周年「感謝のつどい」を開き、OBら約120人が参加した。

1978年3月9日に結成された同事業団就労人員15人でスタートしたが、現在では市から市営駐輪場の指定管理者に指定されているほか、市と「空き家等の適正管理の推進に関する協定」を締結して、見守りサービスを展開。草刈りや庭木の剪定、公園やトイレの清掃、家屋内の整理、遺品整理、マンション管理など多岐にわたる業務を行っている。お世話になった方々に感謝を伝えたいと節目の40周年に、結成50周年以来となる「つどい」を企画。諸般の事情で満41歳を迎えてからの開催となったが、令和の時代、さらに語呂合わせで「よい（41）」の意味もあり、さらなる飛躍を誓い合った。

つどいで、梅原代表理事は「50周年記念誌には『事務所もなく、宇治橋の下に集合、それぞれの仕事場に行くという毎日だった』とある。諸先輩が苦勞され、高齢者の仕事を確保されてきた。感謝している。このような苦勞、初心を忘れず、市民の大きな力となるよう、ますます頑張りたい。高齢者の仕事確保に大きな力添えを」と挨拶した。



感謝を述べる梅原代表理事



つどいを盛り上げた和太鼓サークル『渦』の演奏

会場には事業団の紹介コーナーも設置。雇用保険を完備し、年休も付与していることなどを紹介し、一緒に働ける仲間を募った。希望者は同事業団021-6685まで。なお、41周年記念誌「働く喜び」と「誇り」を大切に作成した。

観光地清掃係 写真は宇治橋歩道部分の清掃作業 丁寧にもやってもらっていると高い信頼を得ています。